



「朝露のあさがお」

## いつまでも安心して住み続けられる地域を

- ・公共施設の再編にどう向き合うか 品田 茂 2
- ・急増するホテル・ゲストハウス 前田直人 4
- ・市バスの中の出来事 佐藤卓利 6
- ・民進党への影響強める連合  
参院選挙結果 DATA 池田 豊 7
- ・交流の広場 8
- ・誰のための何のための市政リストラか(その1)  
高向吉朗 9
- ・私の本棚 中村和雄 10
- ・カメラ探訪(33) 新田能富子 11



(社)京都自治体問題研究所

TEL: 075-241-0781

FAX: 075-708-7042

Email: [kyoto@kyoto-jichiken.jp](mailto:kyoto@kyoto-jichiken.jp)

HP: <http://www.kyoto-jichiken.jp/>

発行人 中林 浩

(「住民と自治」 8月号付録)

# 「公共施設の再編にどう向き合うか」

品田 茂（京都自治体問題研究所会員）

## 1. はじめに

自宅近くにある舞鶴市民会館が、2016年2月に閉館しました。老朽化を理由として、今年度内に取り壊される予定です。1968年の開館から文化活動の拠点施設でしたが、市民会館がある西地域では大きな話題になりませんでした。

私の子どもたちが保育園児のころ、保護者が集まり「舞鶴の子どもたちに本格的な演劇を見せてやりたい」と、劇団仲間「森は生きている」や前進座「子ども歌舞伎 牛若丸」などを毎年2～3回企画しました。身近にある本格的ホールは市民会館だけでしたので、私の生活圏から大切な公共施設がなくなりました。

2016年4月27日、都道府県財政課長会議で、総務省自治財政局長は、公共施設の再編を強く求めました。

「公共施設老朽化対策は、国家的課題になっている。公共施設等総合管理計画は今年度中に策定するよう改めてお願いする。策定のみならず、実行することが重要。公共施設の除去や集約化・複合化、転用の支援措置を設けているので、これらを活用して取り組みを進めてほしい」

公共施設の撤去は原則単費でしたので、国として財政措置を設けることによって政策誘導を行っています。この発言から、市民会館が早急に撤去される事情がうかがわれました。

いま、「公共施設の再編」という手段

により地域が変えられようとしています。小稿では、再編の大きな流れと、舞鶴市での動きを見てみます。

## 2. 公共施設再編のながれ

2010年、国土交通省は「社会資本の維持管理・更新費の将来推計」を発表しました。公共施設の財政負担をシュミレーションし、現状のままでは維持管理費と増える更新費の財政負担に耐えられないとしたのです。

2013年、第30次地方制度調査会では「フルセット行政からの脱却」を打ち出し、翌年地方自治法が改正され「連携協約」が制度化されます。

2014年、都市再生特別措置法が改正され、都市計画の面から公共施設再編の方向性が示されます。立地適正化計画により、都市機能誘導区域、居住誘導区域を設け、拠点エリアへ医療、福祉機能等を集中させる計画です。

「骨太の方針2014」でも、地方の中心都市へ人口・経済機能を集約する手段として、公共施設の集約・統廃合が打ち出されました。

そして総務省は、自治体に対して、2016年度末までに「公共施設等総合管理計画」の策定を求めました。この管理計画は、地方創生戦略の下位計画と位置付けられていることが重要な意味を持っています。

2014年9月、安倍首相は創設した地方創生担当大臣に石破茂衆院議員を任命。同時に国家戦略特区担当大臣ならびに地方分権改革担当大臣を任命し、道州制の本格的な検討を指示しました。11月、安倍首相は自民党「政権公約2014」に「道州制の導入に向けて、国民的合意を得ながら進めてまいります。導入までの間は、地方創生の視点に立ち、国、都道府県、市町村の役割分担を整理」と明記しました。

公共施設の再編は、「究極の行政改革」といわれる道州制につながっています。

### 3. 舞鶴市の状況

舞鶴市では、2013年に「公共施設マネジメント白書」を作成。2016年2月に「第1期公共施設再生実施計画」と「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

「管理計画」によれば、計画年度は2016年度から2045年度までの30年間であり、公共建築物は総延べ床面積の7%を削減、インフラ資産は投資的経費の6%削減を目標数値としています。

計画を読みながら最初に気になった点は、次の二点です。

一点目は、削減目標を導き出した根拠です。計画では、目標数値を算出した根拠を次のように説明しています。

「今後の施設更新費用の年平均資産額は33億4千万円であり、近年の整備実績と比較すると93.7%しか維持できなくなることから、7%のコスト削減をめざす」とあり、経費試算の根拠は「財団法人 地域総合整備財団が作成した公共施設更新費用資産ソフト仕様書を使用した」とあることです。

二点目は、公共施設（はこもの）についての評価方法です。舞鶴市では、139の施設ごとに、建築、防災、拠点、運営、コスト、利用の視点から評価を行っています。

例えば、いわゆる、中心部から離れた地域に位置する「大庄屋上野家」を見てみましょう。

上野家は地域起こしの拠点として、活発な活動が展開されている施設です。しかし、この施設の「拠点（立地特性）」評価は最低のCランクです。評価書を見ると、人口集中地区はA、市街化地域はB、それ以外はCランクです。国が誘導する方針どおり、人口が集中している地域以外は低い評価となり、削減される可能性が大きくなる計画になっています。

### 4. どう向きあうか

国主導で進みつつある公共施設の再編は、これから長期間にわたって地域を変えていく動きとなるでしょう。この動きに対して住民は、公共施設のあり方と財政バランスを能動的に協議し、公共施設の再編を主体的に進めていくことが求められます。

息の長い取り組みになりますが、「公共施設の再編」は住民自治を育む好機としてとらえることも必要と考えています。





## 急増するホテル・ゲストハウス

前田 直人(いいまちねっと東山)

6月11日、「何でも探検隊」の15人で、八坂の塔・京大和・元清水小学校周辺から八坂通・建仁寺南門・大和大路松原・北御門町・五条京阪周辺を探検しました。

周辺には、最近完成したホテルやゲストハウス、建築中のホテル、建設予定地などが多数ありました。

### 新しいホテル・ゲストハウスが10カ所も

①高台寺南門向かいの料亭・京大和は、地上2階地下4階、70室程度のホテルを今秋から着工する予定です。地下といっても傾斜地なので地上に建ちます。

②八坂通から路地を南に下ると、空き地を囲んだフェンスに「東山プロジェクト新築工事」の看板がありました。ホテルのようです。

③清水小学校跡地はNTT都市開発が40室のホテルに改修する予定ですが、すでに西隣には2012年からウェディングレストランを開業しています。さらに東隣の駐車場を取得しており、ホテルとなるそうです。



清水小学校跡地

④八坂通建仁寺南門のNTT跡地は、南北道路の両側にNTT西日本アセット・プランニングが大型のホテルを建設中でした。

⑤その少し西側には出来たばかりの「ザ・レジデンス京都 八坂通り」があります。

⑥さらに大和大路を数メートル南下すると完成したばかりのゲストハウス「エムズ

イン東山」がありました。

⑦大和大路松原を少し東に入ると、またホテルが建設中です。

⑧西南の大黒町通りを南下すると、手作り職人が集まるあじき路地があります。その北に細長い空き地があります。

そこにもホテルの建設が予定されているとのことです。あじき路地の風情が台無しになりそうです。

⑨五条通に出るとコンビニ・サークルKの東隣に7階建てホテルがありました。5月14日に開業したばかりのアーバンイン京都清水五条です。

⑩五条通の南側に目をやると、古い府営住宅が無くなり、白いフェンスで囲われています。ここにもホテルが建設されるのではないかと噂されています。



ゲストハウス「エムズイン東山」

### 富裕層対象の外資系ホテルにも明暗？

今秋、旧専売病院跡地に最高級のフォーシーズンズホテル京都が開業予定です。エントランスは伝統的な日本建築風のデザインを取り入れ、敷地内にある平安時代末期の庭園遺構、「積翠園(しゃくすいえん)」を活かした設計です。現在は、敷地内に紅葉や桜、竹の並木などの凝った植栽をしているところです。

部屋は180室、そのうち57室を住居専用にするという報道されました。分譲と賃貸があるそうです。日本の高度医療を利用する外国の富裕層患者を受け入れ、医師が常駐するといいます。

ところで、京都国立博物館向かいのハイ



アットリージェンシー京都は、パークホテルを買収して10年前に京都初の本格的な外資系ホテルとしてオープンしましたが、再びオリックス不動産が買収しました。団体旅行者や修学旅行生を受け入れ、京都水族館へのシャトルバスを出しています。富裕層ホテル路線も様々です。

### あまりにも無秩序ではないか

京都市内の宿泊可能数は約5万人ですが、海外からの観光客の急増で、「泊まりたいときに泊まれない状態」が続き、のんびりした日本人観光客は締め出されるほどになっています。

今回歩いた地域では新たなホテル建設が目立ちました。京大和やNTT都市開発は比較的大型のホテルを新築しますが、その他は小規模です。

しかし、あまりに急激で無秩序な建設ラッシュです。飲食街の雑居ビルのホテル化のうわさもあります。このままでは“まち”の様相が変わってしまいそうです。

### ゲストハウスは住宅地にも点在

東山ではすぐ身近な路地の中にも多数のゲストハウスができています。短期間で改修工事を済ませるので、外国人がスーツケースを引いて泊まりに来て初めて気がつきます。

八坂の塔近辺には高級っぽいゲストハウスが点在し、玄関はテンキーに番号を入力して開閉するようです。看板には「花とうろ Stay Yasakano Tou Machiya」と書かれていました。



花とうろ Stay Yasakano Tou Machiya

高級なものもあれば、安価と思われるものもあり内容はさまざまです。

これまでは物件のオーナーは外国や他府県の人が多く事故があった時に連絡がつくのか心配されていました。最近、京都市内のオーナーが計画している新築ゲストハウスも見かけるようになりました。

告知板には「(仮称) 御所ノ内ゲストハウス 3階11室」と書かれています。同じオーナーの旅館業法による告知板が増えています。

### ゲストハウスにもルールが必要

近隣住民からは、住宅地にあるゲストハウスへの不満や不安が多くでています。町内のコミュニティ（生活圏の中に）の中に突然見知らぬ外国人が、しかも文化や習慣の違う人達が入れ替わり立ち替わり泊まりに来ることへの不安です。住民の苦情は、深夜や早朝の入退去、声高な会話、ゴミやタバコの吸い殻などの不適切な始末、何かあった時に連絡するところがわからないなど多様です。政府は特区を設けてでも民泊・ゲストハウスを増やす方針です。東京の江戸川区や大阪市ではすでに条例を制定しました。

しかし大阪府の民泊条例は、最低滞在日数6泊7日以上の規定としているためほとんど機能していません。通常、一般の外国人旅行者が同じホテルに6連泊もしないでしょう。需要がなければ決まりは守られなくなり、抜け道が生まれます。

今すぐにもやってほしいことが沢山あります。外国人宿泊者が生活上のマナーやルールを各国語で読めるようにする。近隣住民が必要な時にオーナー及びゲストと連絡がとれるようにする。行政はすべてのゲストハウスの実態を掌握し適切な指導をするなどです。

ホテル・ゲストハウスが急増していくと、夜間人口が増え、地域全体の24時間サイクルの生活形態も変わってしまうでしょう。みなさんと一緒にどうすればいいのか考えていきたいと思います。

## 市バスの中の出来事

佐藤 卓利（立命館大学経済学部教授）

### 京都市内の散策

ここ数年、足腰の衰えに何とか抵抗しようと、屋内では毎日階段の上り下りを励行し、屋外では晴れた休日には、京都市内を妻と散策することが習慣となっている。

主なコースをいくつか挙げると、JR京都駅から塩小路を鴨川へ、河川敷を北へ向かい、糺の森を左手に見て、高野川に沿って宝ヶ池まで、JR山科駅から琵琶湖疎水を西へ、さらに東山を越えて南禅寺まで、地下鉄蹴上駅から南禅寺の境内を抜けて、哲学の道を通り、京大農学部から北白川へ、などである。

洛西では、JR花園駅から双ヶ岡を南から北に抜けて、御室仁和寺西門から、御室八十八か所を巡るコースや、JR嵯峨嵐山駅から大覚寺・大沢池・北嵯峨・広沢池を巡り、山越から御室仁和寺へというコースを歩くことが多い。

### 市バスに乗る

昨年の梅雨入りのころだったと思う。山越に着いたところに雨が降り出したので、26号系統の市バスに乗ることにした。私たちは、終点の京都駅まで行くつもりで一番奥の座席に座ったが、御室仁和寺から妙心寺北門前あたりで、観光客がどっと乗り込んできた。満員の乗客を乗せて、市バスが洛中に入ったころ（北野中学か円町あたりだったと思う）、

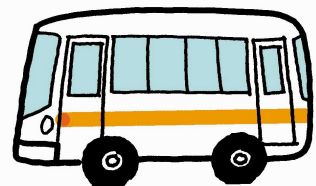
「お客様の中に千円札10枚をお持ちの方はいらっしゃいませんか？1万円の両替を必要とされる方がいらっしゃいます」とのアナウンスが、運転手からあつ

た。するとすぐに「ハイ、あります」と私たちの隣に座っていた中年のご婦人が、大きな声を上げ、通路いっぱいの乗客をかき分け、前方の出口まで行かれ、またしばらくして戻って来られた。その親切な行動が大変印象的であった。

最後部の座席から出口の様子は見えなかったが、おそらく両替を必要としたのは外国人旅行者のようであった。市内の到所で外国からのお客さんを目にするが、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して移動する姿もよく見かける。昨今「おもてなし」という言葉が流行っているが、それは何も気張ってすることではなく、普通の思いやりと振る舞いをするのだと、この車内の一コマから思った。

### 感心した運転手の対応

もう一つ感心したのは、とっさに両替の協力を乗客に求めた運転手の対応であった。妻も「市バスの運転手さん、ずいぶん優しくなったわねー」と言っていた。これは、かつて乱暴な運転と粗雑な接客態度を何度も経験したことのある私たちの偽らざる感想であった。この運転手の対応が、彼個人のものか、職場として共有されたスキルなのか、ぜひ知りたいところである。できれば、後者であってほしいと願う。





| 2016年(7/10) |           |         |       | 当選11       | 改選19 |
|-------------|-----------|---------|-------|------------|------|
| 比例総数        |           |         |       | 11,750,983 |      |
| 比例個人数       |           |         |       | 3,000,956  |      |
| 連合総数        |           |         |       | 2,110,229  |      |
| 当           | 1 電力総連    | 270,285 | 小林正夫  |            |      |
| 当           | 2 自動車総連   | 266,823 | 浜口誠   |            |      |
| 当           | 3 電機連合    | 215,823 | 矢田雄子  |            |      |
| 当           |           | 205,884 | 有田芳生  |            |      |
| 当           | 4 UASENセン | 196,023 | 川合孝典  |            |      |
| 当           | 5 JP労組    | 194,823 | 難波真二  |            |      |
| 当           | 6 自治労     | 184,187 | 江崎孝   |            |      |
| 当           | 7 日教組     | 176,683 | 那谷正義  |            |      |
| 当           | 8 情報労連    | 171,486 | 石橋通安  |            |      |
| 当           |           | 143,188 | 藤本健三  |            |      |
| 当           |           | 138,813 | 白真勲   |            |      |
| 当           | 9 JR総連    | 113,571 | 田城郁   |            |      |
| 当           | 10 JAM    | 112,995 | 藤川博一  |            |      |
| 当           | 11 基幹労連   | 108,522 | 轟木利治  |            |      |
| 当           | 12 私鉄総連   | 102,208 | 森屋隆   |            |      |
|             |           | 86,596  | 田中直紀  |            |      |
|             |           | 73,166  | 柴田巧   |            |      |
|             |           | 71,398  | 大河原雅子 |            |      |
|             |           | 59,853  | 前田武志  |            |      |
|             |           | 46,213  | 小野次郎  |            |      |
|             |           | 38,899  | 西村正美  |            |      |
|             |           | 26,717  | 鎌谷一也  |            |      |

| 2013年(7/21) |           |         |           | 当選7       | 改選16 |
|-------------|-----------|---------|-----------|-----------|------|
| 比例総数        |           |         |           | 7,134,215 |      |
| 比例個人数       |           |         |           | 2,307,052 |      |
| 連合総数        |           |         |           | 1,602,520 |      |
| 当           | 1 自動車総連   | 271,553 | 磯崎哲史      |           |      |
| 当           | 2 電力総連    | 235,917 | 浜野豊史      |           |      |
| 当           | 3 自治労     | 235,636 | 相原久美子     |           |      |
| 当           |           | 191,167 | 大島九州男     |           |      |
| 当           | 4 日教組     | 176,248 | 神本美恵子     |           |      |
| 当           | 5 情報労連    | 167,437 | 吉川沙織      |           |      |
| 当           | 6 電機連合    | 152,121 | 石上俊雄      |           |      |
| 当           | 7 UASENセン | 138,830 | 川合孝典      |           |      |
|             |           | 123,355 | 石井一       |           |      |
|             | 8 JP労組    | 120,782 | 定光克之      |           |      |
|             | 9 基幹労連    | 103,956 | 轟木利治      |           |      |
|             |           | 82,858  | ツルネン・マルティ |           |      |
|             |           | 82,404  | 廣野道彦      |           |      |
|             |           | 53,940  | 鎗瀬進       |           |      |
|             |           | 49,008  | 円より子      |           |      |
|             |           | 29,077  | 五十嵐文彦     |           |      |
|             |           | 27,890  | 吉田公一      |           |      |
|             |           | 27,326  | 奥村展三      |           |      |
|             |           | 24,329  | 佐々木隆博     |           |      |
|             |           | 13,178  | 梅井良和      |           |      |

| 2010年(7/11) |           |         |         | 当選16       | 改選18 |
|-------------|-----------|---------|---------|------------|------|
| 比例総数        |           |         |         | 18,450,140 |      |
| 比例個人数       |           |         |         | 3,847,959  |      |
| 連合総数        |           |         |         | 1,589,546  |      |
| 当           |           | 373,834 | 有田 芳生   |            |      |
| 当           |           | 352,594 | 谷 亮子    |            |      |
| 当           | 1 自動車総連   | 207,821 | 直嶋 正行   |            |      |
| 当           | 2 電力総連    | 207,227 | 小林 正夫   |            |      |
| 当           | 3 UASENセン | 159,325 | 柳沢 光美   |            |      |
| 当           | 4 情報労連    | 150,113 | 石橋 通安   |            |      |
| 当           | 5 JP労組    | 144,782 | 難波 真二   |            |      |
| 当           | 6 JAM     | 143,042 | 津田 弥太郎  |            |      |
| 当           | 7 日教組     | 139,006 | 那谷 屋 正義 |            |      |
| 当           | 8 自治労     | 133,248 | 江崎 孝    |            |      |
| 当           |           | 128,511 | 藤本 健三   |            |      |
| 当           | 9 電機連合    | 120,987 | 加藤 敏幸   |            |      |
| 当           |           | 118,248 | 前田 武志   |            |      |
| 当           | 10 JR総連   | 113,468 | 田城 郁    |            |      |
| 当           |           | 111,376 | 白 真勲    |            |      |
| 当           |           | 100,932 | 西村 正美   |            |      |
| 当           |           | 89,740  | 八代 英太   |            |      |
| 当           |           | 71,346  | 安藤 高夫   |            |      |
| 当           |           | 70,726  | 喜納 昌吉   |            |      |
| 当           | 11 私鉄総連   | 70,521  | 板倉 一幸   |            |      |
| 繰           |           | 68,346  | 小寺 弘之   |            |      |
| 繰           |           | 68,118  | 松岡 徹    |            |      |
| 繰           |           | 66,585  | 工藤 堅太郎  |            |      |
| 繰           |           | 62,905  | 石井 茂    |            |      |
| 繰           |           | 60,689  | 田村 耕太郎  |            |      |
| 繰           |           | 57,009  | 円より子    |            |      |
|             |           | 54,155  | 地谷 幸雄   |            |      |
|             |           | 52,716  | 清水 信次   |            |      |
|             |           | 52,439  | 土田 博和   |            |      |
|             |           | 48,282  | 大石 正光   |            |      |
|             |           | 47,792  | 桂 さん枝   |            |      |
|             |           | 45,810  | 亀原 了円   |            |      |
|             |           | 43,531  | 下田 敦子   |            |      |
|             |           | 43,405  | 庄野 真代   |            |      |
|             |           | 35,392  | 中村 秀樹   |            |      |
|             |           | 33,932  | 岡崎 友紀   |            |      |

| 2007年(7/29) |           |         |           | 当選20       | 改選11 |
|-------------|-----------|---------|-----------|------------|------|
| 比例総数        |           |         |           | 23,256,242 |      |
| 比例個人数       |           |         |           | 4,426,889  |      |
| 連合総数        |           |         |           | 1,826,941  |      |
| 当           | 1 自治労     | 507,787 | 相原久美子     |            |      |
| 当           | 2 情報労連    | 306,575 | 吉川 沙織     |            |      |
| 当           |           | 297,034 | 轟太 愛      |            |      |
| 当           |           | 292,271 | 石井 一      |            |      |
| 当           | 3 自動車総連   | 255,453 | 滝口 修次     |            |      |
| 当           |           | 242,742 | ツルネン・マルティ |            |      |
| 当           | 4 日教組     | 224,999 | 神本 美恵子    |            |      |
| 当           |           | 211,828 | 梅 豊 良郎    |            |      |
| 当           | 5 電力総連    | 194,074 | 藤原 正司     |            |      |
| 当           | 6 UASENセン | 171,084 | 川合 孝典     |            |      |
| 当           |           | 169,723 | 風間 直樹     |            |      |
| 当           | 7 基幹労連    | 166,969 | 轟木 利治     |            |      |
| 当           |           | 153,779 | 大島 九州男    |            |      |
| 当           |           | 151,376 | 西岡 武夫     |            |      |
| 当           |           | 111,453 | 今野 東      |            |      |
| 当           |           | 110,125 | 藤原 良信     |            |      |
| 当           |           | 79,656  | 藤谷 光信     |            |      |
| 当           |           | 72,544  | 望井 邦彦     |            |      |
| 当           |           | 68,973  | 大江 康弘     |            |      |
| 当           |           | 67,612  | 山本 孝史     |            |      |
| 繰           |           | 59,718  | 大石 尚子     |            |      |
| 繰           |           | 53,051  | 広野 允士     |            |      |
| 繰           |           | 47,937  | 秦 知子      |            |      |
| 繰           |           | 44,529  | 斎藤 勤      |            |      |
| 繰           |           | 43,291  | 玉置 一弥     |            |      |
| 繰           |           | 39,327  | 梅井 良和     |            |      |
|             |           | 39,046  | 木下 厚      |            |      |
|             |           | 38,524  | 三輪 信昭     |            |      |
|             |           | 38,229  | 尾辻 かな子    |            |      |
|             |           | 34,395  | 山村 明嗣     |            |      |
|             |           | 33,657  | 叶 芳和      |            |      |
|             |           | 27,500  | 山崎 摩耶     |            |      |
|             |           | 26,403  | 長崎 慶一     |            |      |
|             |           | 25,167  | 高竹 和明     |            |      |
|             |           | 19,468  | 金 政玉      |            |      |

参院選挙、東京都知事選挙において野党共闘は大きな力になって新しい政治の局面を開こうとしています。しかし、この動きに対して民進党に右から大きな圧力を加え、障害となっているのが連合です。

2001年に導入された比例代表非拘束名簿式によって、連合は有力産別を中心に組織内候補を擁立し、各産別の地方組織ごとに票の獲得を強力求めながら、票の掘り起こしをおこない、民主党(旧)への影響力を強めてきました。今回の選挙における連合の影響をみます。

①マスコミは「連合は過去最大の112名を擁立したが4人落選、連合の影響力は低下した」という論調が多いが、実際には、2007年以降連合組織内候補の得票総数は最大で、今回は211万票にのぼる。

②政府やマスコミ、民主党内の「民主党の労組依存体質」攻撃の本質は、連合内の公務部隊である自治労と日教組の影響力を削ぐことにあり、一定の成功を収めている。逆に「労組依存体質」はより強化されている。

③安倍政権以降、特に集票力を高め影響を強めているのが、①東電や関西電が中心の電力総連、②東芝、日立、三菱、松下などの電機連合、③外資系、日産 などの自動車総連、④VNTTの情報労連、これら4産別が常に議席を確保、安倍政権後集票力をアップし4産別で92万票を獲得。共通しているのは、アベノミクスによる輸出関連のグローバル企業の組合であること。

④アベノミクスの恩恵を最も受けている産業の労使一体労働組合が、民進党が選挙を闘う上で、比例区にとどまらず選挙区でも実働部隊として最も大きな集票力があり影響を行使している。

⑤グローバル企業労組への「労組依存体質」強化が、民進党の野党共闘路線否定、アベノミクス推進、憲法改悪の強力が右からのパネトになっている。その点で、連合におけるグローバル企業産別は、アベノミクス推進の補完的側面を一層明確に持つようになってきている。



## 交 流 の 広 場

### 第58回自治体学校in神戸

7月30日(土)～8月1日(月)

#### 1日目 全体会 神戸芸術センター

##### 記念講演

日本型人口減少社会と地域の再生

講師 加茂利男 大阪市立大学名誉教授

自治体問題研究所前理事長

#### 2日目 分科会・講座 神戸市外国語大学

#### 3日目 全体会 神戸芸術センター

##### 特別講演

自然災害からの復興と地域連携

講師 西堀喜久夫 愛知大学教授

2016年(第36回)

### 平和のための京都の戦争展

8月2日(火)～7日(日)

立命館大学国際平和ミュージアム

2016年(第36回)  
平和のための京都の戦争展

戦争の惨禍を学び、現代の平和を追求しよう

「安保法制」戦争法を廃止しよう!!

展示内容

- 日本は中国と戦争をしました。
- 日本は朝鮮を植民地にしていました。
- 戦争末期、中国から大勢の労働者を連れてきて働かせました。
- 日本軍は、アジア各地に「慰安所」をつくりました。
- 「戦争法」を廃止しよう
- 沖縄からのアピール  
(沖縄戦から70周年を記念して、県民に「戦争法」を廃止するよう呼びかけます)
- 戦犯の追悼と平和を祈るために

イベント

- ！ 特別「平和のための戦争展」展示と開演
- ！ 軽食「すいとん」試食あり(6日と7日/1時から)
- ！ 平和中古本あり

8月2～7日  
立命館大学  
国際平和  
ミュージアム

平和のための京都の戦争展実行委員会

### 大企業・富裕層の税逃れは許さない！

### 「パナマ文書」、不公平税制問題を考える学習交流集会

日時: 8月3日(水)午後6時30分より

場所: 京都商工会議所2階教室

講演: 「パナマ文書」が明らかにした税逃れの

実態、不公平な日本の税制の仕組み・問題点

講師: 永野義典 税理士

主催: 京都国公・京都自治労連

京都府職労連・京都市職労

### 原水爆禁止2016年世界大会

大会テーマ

核兵器のない平和で公正な世界のために

一被爆者とともに核兵器のない世界の

扉を開こうー

8月2日～4日 国際会議<広島>

8月4日～6日 世界大会<広島>

8月8日～9日 世界大会<長崎>

### 第13回地方自治研究全国集会in茨城つくば

共同の力で、まもろう、いのちとくらし

つくろう、憲法がいきる

地域・日本

#### 1日目 全体会

日時: 10月1日(土)12:45～

会場: 茨城県つくば市つくば国際会議場

記念講演「民主主義を再定義する」

講師 高橋源一郎 作家・明治学院大学教授

ナイター講座

第1テーマ

講師 岡田知弘 京都大学教授

第2テーマ

講師 芝田英昭 立教大学教授

第3テーマ

講師 平岡和久 立命館大学教授

#### 2日目 分科会

会場: 筑波大学キャンパス

25の分科会・2つの現地分科会



## 誰のための何のための市政リストラか・・・(その1)

税金を湯水のごとく使う事業計画が闇の中からポンと飛び出してくる亀岡市。

チェック機関としての体をなしていない市議会。それに対し声を上げて、仕事上の利害関係や自治会の縛りの中で変わりきれない風土。この四半世紀の歴史を見てもそれが明らかとなる。次にそのいくつかの事実をあげてみる。

亀岡市では過去に、外国の大学分校の誘致・建設を強引に進めたが、5年で破綻した。また、新火葬場用地では、2箇所もの不適切用地を高値で購入し棚ざらして借入金利だけがかさんでいる。さらに、山間部に購入した工業団地用地には企業が来ず、超安値で売却したことなどなど、あまりにばかげた市政の執行が目立つ。200億円の莫大な資金をかけて作った総ガラス張り施設の借金返しは20年かかって終わったばかりだ。

その亀岡市で、昨年11月に市長選挙が執行され、「京都スタジアム(仮称)建設」の是非をめぐる一大論争がくりひろげられたが、推進派が新市長となった。政策には、「あれもやる、これもやる」式のスローガンが並んだが、当選直後の12月市議会では、財政問題を口実に公約からの後退姿勢が見えてきた。

本年2月には、新設した市長公室に人事課を移し、市長権限の強化を図る体制をとった。

その間に市立病院管理者を任期を待たずして差し替えた。病院リストラの準備

と考えられる。教育長も副市長の内の一人も任期を残して3月末で退任となった。

3月議会では、市総合計画(後期基本計画)を策定した。名付けて「亀岡市まるごとスタジアム」計画である。そして、そのスタジアム関連予算で5億円が計上された。

一方、3月議会では一般会計予算1割カット、補助金は一律2割カットが市長より指示された。それほど市の財政は厳しいという。市総務部財政課の財政状況と今後の見通しでは、主要3基金の残高が6億円の見通しであり(平成27年度末)、「平成27～31年度の中期見通しでは35億円の財源不足が生じる」としている。

3月議会では、実際に、子どもの医療費の無料化拡充に関しては、「無い袖は振れない」が市長の答弁だった。6月議会では、「スタジアム建設関連に莫大な予算を使い、市民の暮らしの予算を削るとはどう考えているのか」との市議の指摘に対し、「それぞれ別のものだ」と居直っている。ところが、14億円で購入したスタジアム用地がどうも使えそうに無いとの判断から、市長は遮二無二、新たな用地購入に動き出した。今度もまた、十分な調査・研究をしないままにことをすすめようとしている。しかも単費で数十億円を出すというのだ。

(次回に続く)

## 「18歳からの格差論」のおすすめ

(東洋経済新報社 井出英策 著 2016年6月 1,080円)

参議院選挙が終わりました。同僚の大河原さんが奮闘しましたが、現職の壁を突き破ることはできませんでした。全国的には、東北地方や沖縄の1人区での野党共闘候補の議席獲得など野党共闘が大きな力を発揮しました。比例区では共産党が大きく票を伸ばし、民進党も3年前に比べれば前進しました。しかし、残念ながら改憲勢力が参院でも3分の2を占有するという事態になってしまいました。わたしたちの訴えがなぜ大きく拡がっていかないのか、失望したり悩んだりしている方も多いと思います。この本は、そうした方にぜひおすすめです。

著者はいま売り出し中の慶応大学経済学部の教授ですが、この本は研究者が書いたとは思えない平易な言葉遣いと絵本のような挿絵によってわが国の現状分析と改革の方向性を語っています。しかし中身はとても深いです。そしてとても刺激的です。時々ドキッとするフレーズが登場します。「貧困にあえぐ人々を『見て見ぬふりをする社会』を僕たちは生きている」「この格差社会を作り出したのは誰なのでしょう。・・・普通に生活していた人たち、そう僕たちみんなです。自分が負担に苦しむくらいなら、貧しい人にはあきらめてもらう。しかたなく見て見ぬふりをする。そんな『冷たい社会』を生きる僕たちが格差や貧困の問題を生み出したのです。このことへの反省がないかぎり、そして、なぜ僕たちがそんな社会をつくったのかを徹底的に考え抜かないかぎり、公正で優しい社会など実現できるはずがありません。」「格差是正というリベラルの叫びは、多くの人たちの心には響かない、ということです。」「中間層がじわりじわりと貧しくなるなかで、貧しい人の暮らしばかりを

重んじるとどうなるでしょう。格差是正の必要性を訴えるほど、負担者となる中間層の痛みが増し、貧しい人への非難、あら探しがはじまります。」

著者はこの分断社会を解決する方法として、「必要の政治」への転換を提起します。必要の政治とは、弱者を助けるのではなく、人間の必要を充たし、弱者を生まないようにすることです。「全員が受益者となり、全員で負担も分かち合うこと。」

著者の考えをうまく伝え切れません。ぜひ著書を最後までお読みください。異論もあると思いますが、運動のあり方を考えるうえで大変参考になります。

最後に、この場をお借りして拙著のPRです。安倍政権の労働規制緩和政策に対抗して、僭越ながらわたくしめが「一億総活躍」できない「ニッポン」の働き方を「人間らしく働く」働き方に改革するための方策について、「『ニッポン』の働き方を変える」(かもがわ出版、定価1,000円+税)を出版しました。「同一(価値)労働同一賃金」、「最低賃金の引き上げ」、「長時間労働の規制」、「ワークライフバランス」「ホワイトカラーイグゼンプション」などのテーマについて、アメリカ、オランダ、デンマークの紹介も交えて論じています。

ご一読頂き、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。





カメラ探訪33 新田 能富子  
丹後あかまつ号



「あかまつ号乗車と舞鶴ひと目10万本のあじさい」というバスツアーの日帰り観光に参加しました。

京都駅と四条大宮から30名ほどの参加者がバスに乗り込み、京都縦貫道を走って、10時過ぎには一つ目の目的地、「天橋立ワイナリー」に到着しました。天橋立にもブドウ畑があり、ワインが作られていたとは初めて知りました。

天橋立を散策、昼食後、いよいよお待ちかねの「あかまつ号」に乗車します。あかまつ号は32名が定員でツアーは満席。なかなかの人気です。

北近畿タンゴ鉄道の再起と丹後観光振興のために投入された観光型列車「あおまつ・あかまつ号」は、長年普通列車として使われてきたものを、九州の「ななつ星」も手掛けた水戸岡鋭治氏のデザインによりリニューアルされました。デザインのモチーフになっている松は、日本海の白砂青松を象徴しているそうです。「あかまつ」は、通常の運賃以外に乗車整理券(300円)が必要で、座席数だけなので着席が保証されます。車内は木目調の内装で統一され、テーブルをはさんだ四人掛け、二人掛けのシート、窓に向けたカウンター席やテーブル席など多彩な座席が用意されています。通路のショーケースには沿線観光地の写真や名産品が飾ってありました。

西舞鶴までの約1時間の乗車中、まず車内のインテリアをカメラに収め、次にアテンダントさんにもらったカードに記念のスタンプを押します。車窓の景色が山から海へと変わっていく度に席を立てて写真を撮り、みんな遠足の子どものように車内を行ったり来たりしていました。飲み物のサービスをするアテンダントさんも、満席のお客さんの対応に大忙しでした。

「KTR・北近畿タンゴ鉄道」は、平成27年4月から「京都丹後鉄道(丹鉄)」に変わりました。(略称は「KTR」のまま。)

鉄道施設等を北近畿タンゴ鉄道が保有し、WILLER TRAINS(株)がそれを借り受けて運行するという、上下分離方式の運行体制だそうです。

WILLER TRAINS(株)は本社東京の高速バス会社で、鉄道事業は初めてです。ネット予約や観光事業との連携で新たな集客を目指しているそうです。食堂列車「くろまつ号」も運行し、地域の海や山の幸を使った料理を食べながら、沿線の観光地を廻るコースが季節ごとに企画されています。

「観光列車」という非日常の魅力で地域外の利用者を呼び込み、地域内の日常の「通勤・通学」や「通院」の交通手段を維持しようということでしょうか。

「京都丹後鉄道」のホームページには、観光列車の宣伝が前面に出ていましたが、「地域の人に便利な企画乗車券」というものもあって、家族やグループで使える「京都みんなで特急回数券」や、「あんしん通院ペア乗車券」「片道通学定期券」などもありました。

利用客が増え、今度こそ経営が安定し、地域の様々な業種との連携も強められ、丹後地域の公共交通として生き残っていくことを願っています。

# 事務局通信

## 夏休み、親子で学ぶ実験教室

8月11日(木/休)13:30～(開場13時)  
京都教育文化センター 302 号室  
講師:市川章人  
科学教育研究協議会員/日本科学者会議会員

### 【参加要項】

- ★定員:100名
- ★対象:小学校高年以上
- ★参加費用:材料費 300円/1ペア)
- ★申込み:京都自治体問題研究所  
電話、ファックス、メールで
- ★主催:京都自治体問題研究所
- ★協賛:京都教育センター

## 夏休み親子でまなぶ実験教室

### —原子力発電とは? 放射能とは?— 放射線の飛ぶようすを目で見よう!

★見えない放射線はどうやって知ることができるでしょうか?

飛行機雲ができる原理をつかった簡単な実験装置で、放射線の飛びの様子を見ましょう。その実験を交えながら原子力発電と放射能の話をしします。

★また、発電機を使って発電のしくみや節電の効果も考えましょう。



■日時: 8月11日(木曜・休日) 午後1時半～3時半頃(開場は1時)

■場所: 京都教育文化センター 302号室

京都市左京区聖園院川原町 4-13

■講師: 市川章人

科学教育研究協議会員/日本科学者会議会員

京都市自治体問題研究所研究員

### 【参加要項】

★定員: 100名/定員に達した時点で締め切ります。

★対象: 小学校高学年以上。基本的に大人と子どものペア。

上記以外の場合も相談にのります。学校の先生方の参加も歓迎。

★参加費用: 材料費として300円(1ペアにつき)

★申し込み: 下記の京都自治体問題研究所まで、電話、ファックス、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。(氏名、子どもの年齢、連絡先を添えて)

京都自治体問題研究所 (京都市中京区美川通室町東入ル巴町 80 パルマビル 2F-D)

TEL: 075-241-0781 / FAX: 075-708-7042

E-mail: kyoto@kyoto-jichiken.jp

主催: 京都自治体問題研究所 / 協賛: 京都教育センター

## ツキイチ土曜サロン

＜お気軽に参加下さい＞

日時: 8月20日(土)午後2時～

場所: 京都自治体問題研究所

題材: 中公新書

『歴史認識』とは何か

—対立の構図を超えて—

(15.7 大沼保昭著 江川紹子聞き手 907円)

報告者: 鈴木 元さん

日中・日韓関係を極端に悪化させる歴史認識問題。なぜ過去をめぐる認識に違いが生じるのか、一致させることはできないのか。本書では、韓国併合、満洲事変から、東京裁判、日韓基本条約と日中国交正常化、慰安婦問題に至るまで、歴史的事実が歴史認識問題に転化する経緯、背景を具体的に検証。あわせて、英仏など欧米諸国が果たしていない植民地支配責任を提起し、日本の取り組みが先駆となることを指摘する(中央公論新社)。

## お知らせ

年報「京都自治研究第9号」発行しました(@500円)

大変お待たせしました。

### ●第2回理事会を開催します

開催日時 8月2日(火)午後7時～

場 所 京都自治体問題研究所

理事の皆様へ

理事会の成立は、実参加者が過半数必要となりますので、お忙しいこととは思いますが、ご出席のほどよろしくお願いします。

### ●会費及び「住民と自治」購読料納入のお願い

よろしくお願いします。

## 新しいホームページ、メールアドレス

<http://www.kyoto-jichiken.jp/>

e-mail: [kyoto@kyoto-jichiken.jp](mailto:kyoto@kyoto-jichiken.jp)

お気づきの点は事務局へご連絡下さい。